

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社ネクステージ			コード	3186
提出日	2020/2/25	異動（予定）日	2020/2/21		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されたため				
☐ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／ 社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の 同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当 なし		
1	松井 忠三	社外取締役	○													○		有
2	松本 晃	社外取締役	○													○	新任	有
3	春馬 学	社外監査役	○								△							有
4	村田 育生	社外監査役									△							
5																		

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	該当事項はありません。	松井氏は、企業経営における豊富な経験と深い見識を持ち、当社グループの店舗営業における管理体制や仕組みの構築、人材教育や内部統制、コンプライアンス体制の強化に対し、十分な役割を果たしていただけるものと判断したためです。また、当社と松井氏との間に特別な利害関係はなく、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと考えております。
2	該当事項はありません。	松本氏は、長年にわたる経営者としての豊富な経験と実績を有し、当社グループの持続的な企業価値向上に向け、取締役会の意思決定及び監督機能の実効性強化に対し十分な役割を果たしていただけるものと判断したためです。また、当社と松本氏との間に特別な利害関係はなく、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと考えております。
3	春馬氏は、過去に同氏が代表を務める弁護士事務所と当社が顧問契約を締結しておりましたが、顧問契約期間中に多額の報酬を支払っており、また2010年3月31日をもって顧問契約は終了していることから、一般株主と利益相反の生じる恐れはないものと判断しています。	春馬氏は弁護士であり、法律の専門家としての見識に優れ、社外監査役として客観的な視点から、当社のコンプライアンス体制、ガバナンス体制及び業務執行の監査を行っているため、独立役員として指定しております。
4	村田氏は、過去に同氏が代表を務める村田作戦(株)と当社がコンサルタント契約を締結しておりました。	村田氏は、当社と同業種である事業会社での経験があり、豊富な知識と経験を活かした監査機能を期待し選任いたしました。同氏は当社取締役会、監査役会において社外監査役という立場から業務執行状況、議案・審議等に中立かつ客観的な立場で積極的に発言されております。
5		

4. 補足説明

--

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。